

第2回 千葉開府900年記念協議会議事録

- 1 日時：令和6年3月26日（火）午前10時00分～午前11時30分
- 2 場所：TKPガーデンシティ千葉 4階 コンチェルトB
- 3 出席者：別紙「出席者名簿」のとおり
（事務局） 峯村総合政策局長、堺総合政策部長
上坊寺都市アイデンティティ推進課長
日野都市アイデンティティ推進課課長補佐、その他事務局職員
- 4 議 事
（1） 千葉開府900年記念事業推進計画（案）について
（2） 令和6年度の千葉開府900年記念協議会の事業計画（案）等について
その他意見交換

5 議事の経過の概要

総合政策局長

それでは定刻となりましたので、第2回千葉開府900年記念協議会を開会いたします。私は司会を務めさせていただきます千葉市総合政策局長の峯村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日はご多用の中、千葉開府900年記念協議会にご出席をいただき誠にありがとうございます。最初に本日の出席者の皆様をお手元の千葉開府900年記念協議会委員名簿に沿いまして、私から紹介させていただきます。

～順次、出席者を紹介～

まず初めに、本日の会長であります千葉市長の神谷俊一よりご挨拶を申し上げます。

神谷会長

皆さんおはようございます。お忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。昨年11月の本協議会では委員の皆様と非常に活発な意見交換をすることができまして本当にありがとうございました。

前回の議論を踏まえまして千葉開府900年記念事業推進計画を確定させたいと考えております。またロゴマーク、キャッチコピーなど機運醸成に向けた本協議会としての令和6年の事業計画をお諮りしたいと思っております。

また千葉市としても千葉開府900年に向けた準備を各局で始めておりまして、郷土博物館の展示リニューアル、こ

これは現在の千葉氏の展示の見直しはもちろんでありますけれども、千葉の街の成り立ちを通史で学ぶことができる展示にすべくリニューアルも検討しておりますが、そうした事業の予算につきましても、先の市議会で議決されました。こうした取り組みにつきましても併せて報告をさせていただきたいというように思っております。

また市内におきましては様々な分野の方が、開府900年に向けた取り組みを具体化、動き出しているように感じておりまして、先週末亥鼻公園におきまして、経済界の方が中心となって、桜の植樹の基金を立ち上げていただき、6年間かけて植樹50本を行っていただき、そのお披露目と記念碑の除幕式を開催いただきました。

いよいよ市内におきましても、開府900年に向けた取り組みが具体化できる時期になってきたというふうに思いますし、今年6月1日、千葉開府の日になりますが、今市内で展開しております「ちばかわまつり」の都川バージョンとして開催いたしますが、こちらにつきましても都川の水運の歴史ですとか、街の形成に非常に大きな役割を果たしているということで郷土研究が進んでおりまして、そうしたことも市民の方に認識していただけるような取り組みを予定しておりまして、今準備を進めているところでございます。

今後、この協議会での議論を深めていただきまして、市内各地で様々な具体化をしていければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。今日は議事に加えまして令和8年度に行います本協議会主催の記念事業について意見交換の時間を設けております。こちらにできるだけ多くの時間をこちらに割きたいと思っておりますので、ぜひとも委員の皆様方の忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。

千葉開府900年は千葉市にとりまして極めて重要な節目の年であり、実りある取り組みにしていきたいと思っておりますので皆様方の連携をさらに深めていただきたいと思っております。機運醸成、官民挙げての記念行事実施に向けまして、一層のご理解とお力添えをお願いいたしまして、私からの挨拶に代えさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

総合政策局長

ありがとうございました。それではさっそく議事に移らせていただきます。これからの議事進行につきましては神谷会長が議長を務めさせていただきたいと存じますのでよろしくお願いいたします。

神谷会長

それでは私の方で進行させていただきたいと思います。

まず議事の進行(1)千葉開府900年記念事業推進計画(案)についてであります。第1回目の協議会におきまして、素案に対しまして、皆様方からご意見を頂戴しました。今日の第2回の協議会の際に、皆さんのご意見を反映させたものを計画案として掲示させていただくものであります。まずは事務局から説明をしてください。

総合政策部長

事務局総合政策部長の堺でございます。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて説明させていただきます。資料は1-1、1-2の2点でございます。

推進計画素案を前回11月の協議会でお示しいたしまして、皆様から貴重なご意見、ご示唆をいただきました。推進計画の方向性を修正するというようなご意見はなかったのですが、それぞれのご意見を反映して文章を補強、ブラッシュアップを図ってまいりました。資料の1-1は既に修正を反映した最終版となつてございまして、資料1-2が、素案から修正内容を抜粋した対照表となっております。

資料1-2を用いてご説明申し上げます。修正点につきましては計5点でございますが、特に前回ご意見が大きかった2点を抜粋してご説明申し上げます。

まず1の策定の趣旨でございます。こちら50年に一度の記念事業ということで、若い世代の参画というものが非常に重要であるというご意見を多数いただきました。これを踏まえまして、右側修正案下線部のところでございますが開府1000年をも見据えつつ、時代を担う若い世代が千葉市に誇りを持ち、未来に繋げていくということで、明確化したところでございます。

もう一点はページをおめくりいただきまして、中ほど下のところでございます。エの記念事業の(イ)対象エリアを追加してございます。ここはですね、実際の記念事業をどうい

った範囲で展開するかというところについて前回、ある程度範囲を特定していくという方向のご意見と、市民の幅広い参画ということで市内全体でというような両方のご意見があったところでございますが、記念事業のセレモニー的な部分は当然、歴史を踏まえた千葉都心というのを意識しつつ、幅広い市民団体企業の皆様のご参画をいただくという視点から、市内全域ということで対象を記載させていただいたところでございます。

抜粋で恐縮ですが主な修正点でございます。本日この協議会でお認めをいただきましたならば速やかに公表等を進めてまいりたいと考えてございます。説明は以上です。どうぞよろしくお願いいいたします。

神谷会長

説明ありがとうございました。それではただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見ございますでしょうか。

特にご意見などはないということで、よろしいですかね。それでは議案第1号の千葉開府900年記念事業推進計画、ご承認いただけます場合には拍手をお願いできればと思います。

全委員

～拍手～

神谷会長

それでは議案第1号につきましては承認されました。ありがとうございます。続きまして議事(2)になりますが、令和6年度協議会の事業計画(案)等についてでございます。それでは事務局から説明をお願いいたします。

総合政策部長

はい、事務局でございます。それでは資料2と記載があります令和6年度協議会の事業計画(案)をご覧ください。ここでは計8ページございますけれども、記載内容といたしましては、ロゴマーク・キャッチコピーの制作、特設ホームページおよびSNSアカウントの開設、メンバーシップ制度、スケジュールという構成になってございます。

それでは2ページをお願いいたします。まずロゴマーク・キャッチコピーについてでございますが、この推進計画の基本理念を体現した未発表のデジタルまたはアナログの作品を募集いたします。3番の通り、最優秀賞、優秀賞、ユニーク賞といった形でそれぞれ賞を設けたいと考えております。

3ページにお進みください。審査でございますが、2段階を考えてございます。専門家による審査を1次といたしまして、2次審査で市民投票を行い、最優秀賞などを決定してまいります。スケジュールでございますが、募集は7月末までと考えております。

これはお子様からもということで夏休みにかかる設定でございます。その後1次2次の審査を経まして年内には発表したいと考えてございます。

続きまして4ページでございますが、作りましたロゴ・キャッチにつきましては、この協議会としてPRグッズを作成いたします。それぞれの構成団体様、あるいは後ほどご説明しますメンバーシップのメンバーにつきましては、これらを積極的に活用していくというような内容で考えてございます。

続きまして5ページでございます。ホームページおよびSNSアカウントの開設でございます。

ホームページにつきましては令和7年1月頃の開設を予定してございます。これはキャッチの確定に合わせてデザインをしたいということでございます。一方SNSアカウントにつきましては、ロゴ・キャッチの募集等に活用するため4月早々には開設してまいりたいと考えてございます。

続きまして6ページでございます。メンバーシップ制度でございます。こちらは推進計画に記載した内容とほぼ一緒でございますので詳細は割愛いたしますが、この構成団体の皆様以外の市民企業団体皆様のですね、メンバーとして登録して機運醸成、または記念事業を作り上げるというところに活用してまいりたいというところでございまして、3番の通り、令和7年1月ごろのスタートを予定してございます。

7ページでございます。詳細は割愛しますが、6番の登録者への支援というところでですね、メンバー登録証の交付というのを行いたいと考えております。これによって、例えば事業者さんが実際に登録証を掲げていただくとかそういった形を考えてございます。その他データ提供PRグッズの貸し出し等ということで、進めてまいりたいと考えております。

最後に8ページのスケジュールでございます。今申し上げたような形で、本格的には令和7年1月にロゴ・キャッチ、ホームページそしてメンバーシップ制度、このあたりを動かしていきたいと考えてございます。その前段で一番上の協議会ですが、第3回の協議会を12月頃を目途に、また年度末に第4回の協議会で令和7年度についての議論ということで2回程度を考えてございます。資料の2については以上でございます。

続きまして、左肩に参考資料とございます令和6年度の千葉市の主な事業についてご説明を申し上げます。先ほど市長からもありました通り議会で令和6年度当初予算をご承認いただきましたのでそちらのご報告をさせていただきます。1ページでございますがこちらは記念事業、令和8年度を中心とした記念事業の開催に向けた準備についてでございます。

上の4点が千葉氏に関連する事業でございます。郷土博物館の展示リニューアルにつきましてはリニューアルオープンそして特別企画展などの開催に向けまして、リニューアル工事に着手をいたします。また併せて資料の調査、発掘等々進めるとともに、先端技術を活用したコンテンツ、こちらについても準備をしております。

また郷土博物館の周辺、亥鼻公園の中にいのはな亭という和風建築の茶室がございますけれども、こちらのリニューアルを進めてまいりたいと考えております。下の2点につきましては技術関係でございまして、千葉市美術館での特別企画展の開催に向けました作品の修復等を進め、また千葉国際芸術祭につきましてはこちらは令和7年度が本番となりますが、そのプレ会議としてのワークショップなどを実施したいという考えでございます。

記念事業の関係は以上でございまして、2ページをお願いいたします。こちらは機運醸成関係の取り組みでございます。一つ目の千葉開府の日イベントは6月1日の開府の日に合わせて開催するものでございますが、冒頭市長のご挨拶にもありました通り、この都川の水流に着目した千葉かわまちづくりの取り組みと連動した形で、開府の歴史を伝えるようなイベントをしたいと考えてございます。

(2) 親子三代夏祭り、あるいはゆかりの都市の連携強化につきましてはこれまでも進めてきたところを拡充して、例えば親子三代夏祭りでは子ども武者行列に使う流れ旗の制作等々を行ってまいりたいと考えております。また(3) プロモーションの充実につきましては、コロナが明けた中で、区民まつり等々のイベントに出展してどんどんと周知を図っていきたくと。また、記念商品の販売に向けてクラファンを活用した商品開発支援なども行ってまいりたいと考えています。

6年度予算としては以上でございますが、これらの事業に加えまして庁内各部門におきまして、記念事業の検討を進めているところでございます。このあたりは順次協議会の場でもご説明申し上げていきたくとと考えてございます。説明は以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

神谷会長

はい、説明ありがとうございました。議案となっておりますのが資料2でありまして参考資料の方は、報告になりますけれども、いずれの資料につきましてもご意見ご質問いただければと思います。ご意見、ご質問よろしくお願いたします。いかがでしょうか。

千葉テレビ放送 青柳
代表取締役社長

参考資料の方で恐縮ですけれども、機運醸成関連(2)の千葉氏ゆかりの都市の出展とあるんですが、これは具体的にはどこ自治体と決まっているのでしょうか。

神谷会長

はい事務局どうぞ、お願いします。

都市アイデンティティ推進課

都市アイデンティティ推進課の上坊寺です。ただいまご質問がございました千葉氏ゆかりの都市というのは千葉一族、千葉常重、常胤、それからその息子たちの六党が全国に散らばってそれぞれ支配を進めてきたというところを千葉氏ゆかりの都市というふうに称しております。

ゆかりの都市は千葉市を含めて全部で12都市ございます。順番に県内で行きますと千葉市、それから佐倉市、成田市、酒々井町、多古町、東庄町、続きまして岐阜県の郡上市、それから佐賀県の小城市。それから岩手県の一関市、宮城県の涌谷町、それから福島県の相馬市と南相馬市に千葉市を含めまして12自治体ということになります。

千葉テレビ放送 青柳代表取締役社長

どうもありがとうございます。今の千葉氏ゆかりの、ということで千葉氏を語るときに一番は千葉常胤ですね、やっぱり。何をした人なんだっていうと頼朝を助けて鎌倉幕府の開府に繋げた。非常に功績の多い人物という評価だと思うんです。ただそのときに千葉氏といきなり出てきても、例えば他県とか県内でもそうだと思うんですけど、何をやっている人かよくわからない。なんですけれども、頼朝を助けて頼朝が幕府を開く礎を作った人なんだよっていうことで、ビッグネームですから、例えば鎌倉市と連携して、そこを盛り上げるとかっていうようなことも可能性としてはあるのかなって気がするんですけどいかがでしょうか。

都市アイデンティティ推進課

都市アイデンティティ推進課です。ただいまご意見いただいた通り、まさに鎌倉幕府の源頼朝を助けた筆頭の武将として、千葉常胤というものがございます。少し前に大河ドラマでやりました鎌倉殿の13人、その大河の中で大きく取り扱われたこともございますので、今後我々の方としましても、鎌倉市、そして頼朝というものを少しクローズアップする形で、そういった形でのプロモーションで増やすことも考えてございます。

千葉テレビ放送 青柳
代表取締役社長

はい、どうもありがとうございました。

神谷会長

他にご意見ございますでしょうか。

千葉市教育振興財団
飯田理事長

資料2の2ページにロゴマーク・キャッチコピー制作ということで、各賞金額として最優秀賞10万円、以下2万円とか、5万円とありますが、何か自分のイメージとしては、少額ではないかと。毎年やっているイベントのロゴマークを作るような予算じゃないかなってちょっと感じます。

900年記念事業で、50年に一遍しかやらない事業に対するロゴマーク作成が、たった10万円の賞金なのかという印象を受けました。多分行政の予算の中でいろいろと厳しいものがあるかなって感じもするんですけども、このロゴマーク作成のためにクラウドファンディングするなり、寄附を募るなり、いわゆる市民の協力を得て、この優秀賞がさすが千葉市民だっというような金額にならないのかってちょっと感じたところでして、別にそうしていただきたいわけではないんですけども、いま一度事務局はこの10万円で、この900年の記念事業に対するロゴ・キャッチの作成でいいのかっていうのを検討していただければというお願いでございます。以上です。

神谷会長

はい、予算厳しいところではありますが、事務局の見解をお願いします。

総合政策部長

事務局でございます。市制100周年のときに同額でやった中では、非常に多くのご応募をいただいたということもございまして、今この金額設定とさせていただいているところでございます。

インセンティブとして十分かというのは、応募される方によっていろいろな受け止めがあると思います。まさにご指摘

の通り予算の中でどう配分するかということですので、そこはちょっと検討の余地はあるかと思いますが、今後の宿題という形でちょっと捉えさせていただき、一旦これというふうに考えています。

神谷会長

ありがとうございます。はい、どうぞ中元委員。

千葉日報社 中元代表
取締役

今ロゴマークの件が出たので、これ一次審査の選考委員会で6点を選んで、二次審査で投票によるけれども、今いろんなところで選考が問題になっています。

投票された中で2位が選考されるとか、あるところでは100何位がそのまま決定されたという事例があるんですけども、これをどのように整理するのか。

市民の投票で選ばれたトップをそのままにするのか、選考委員会があって、さらに議事で選考委員会が選ぶということはないのだと思いますけれども、そのまま投票でトップにするんだとすると、今度はWebとかSNSで団体投票とか組織票みたいなものに関してチェックを入れるかフィルターをかけるとか、その辺をどう考えているかっていうのがまず一点と、ロゴマーク・キャッチコピー6点選ぶというのはいいんですけども、最優秀賞1点で優秀賞3点、先ほど金額についてはご意見がありましたけれども、ユニーク賞3人には記念品が出るのにここで多分2点が残るんですけど、この2点についてはどういうふうな扱いをするのでしょうか。

神谷会長

はい、事務局お願いいたします。

都市アイデンティティ
推進課

都市アイデンティティ推進課です。まず選考につきましては、2次審査は市民投票で純粹に、得票の一番多かったものを最優秀として正式に900年の正式なキャッチコピーとして採用すると考えております。

続きまして最優秀賞と優秀賞に選ばれなかった2点の考え
方ですけれども、まずその前にユニーク賞の考え方もすけれ
ども、ユニーク賞はですね、1次審査の時点で、これは3
点、既に選出をする予定でございます。これは2次審査の市
民投票に諮らずに決めます。まず最優秀賞、優秀賞とユニ
ーク賞は別の、どちらかという今想定しているのは、例えば
小学生が斬新だったものを提案してくれたときに、ただちょ
っと最優秀とするには・・・というようなものであれば、ユニ
ーク賞として賞をあげたいということで考えております。

6点を選ぶというのは、どれが1位になったとしてもおか
しくないものを選んだうえで、最優秀という賞を選ぶので、
ここで漏れてしまったものとユニーク賞を比較して記念品が
ないじゃないかという、これは別の賞として考えているも
のでございます。

千葉日報社 中元代表
取締役

はい、わかりました。

総合政策部長

すいません、一点補足よろしいでしょうか。先ほど組織票
でお話ございました。さすがに、異なるアカウントから投
票があった時に、それが裏で繋がっているかどうかを確認す
るのは非常に至難の技とっておりますが、当然同一アカウ
ントから複数の投票ですとか、そういうものは選考から弾い
ていくということは考えております

神谷会長

はい。ありがとうございます。

佐久間副会長

今の話に関係しますが、最優秀賞で得票が多かった作品
がみんなにマッチしないものが選ばれる可能性もあると思
うんです。

例えばひとつの案ですけど、五つぐらいを専門家が選んで
その中で投票数を見ながら、この協議会メンバーにはいろい

るな人がいますので、このメンバーで最優秀賞を決めるとかいろいろな方法があります。最優秀賞に対して、みんながあれ？と思うものが選ばれたときにどうするのかというのがありますので、専門家と私たちを入れながら、一番いいものを選ぶという形でというのが私からのご提案です。

神谷会長

ありがとうございます。事務局どうぞ。

総合政策部長

はい、ご意見ありがとうございます。

資料上、1次審査につきましては専門家等で構成される選考委員会による審査というふうにしてございます。ロゴマークを決めること自体も、この機運醸成の一環というふうと考えており、結局は、市民投票ということにつけたいという思いが事務局ではございますが、この構成員の皆様のご意見を事前に反映するというようなことを、ぜひご議論いただきたいと思いますが、そういった意味ではこの1次審査の中で、そういうプロセスを設けるということは、考えていきたいと存じます。

神谷会長

ロゴマーク・キャッチコピーの審査の手法についてなんですけれども、原案ですと1次審査ではの専門家を入れて審査をして、事務局の説明ではどれが選ばれても大丈夫だということとしたうえで投票にかけるとしてありますが、審査の手法につきましてご意見ございましたら追加でいただきたいんですが、いかがでしょうか。

日本放送協会千葉放送局 綱島局長

NHK綱島です。今のお話に重複する部分はありますが、開府900年という事業がこのロゴマークやキャッチコピーで表現されることになりますので、それなりに重要なものと認識しています。

市民の皆さんの機運醸成という意味合いでこれを行っているとは思いますが、戦略的に考えた場合、応募数が少なかつ

たり、質が一定基準に達しないケースも想定されると思います。そうした場合に、出てきたもの（応募作品）だけで選考するのか、それともプロの案というものも少し用意しておくのかということなのですが、いかがでしょうか。基本的に市民の提案だけをベースに考えるということでのいいのでしょうか。

神谷会長

はい、事務局お願いします。

総合政策部長

はい、ご意見ありがとうございます。まずですね、市民から募集というところにつきましては、千葉市民に限るということではなく、幅広く募るのが前提でございます。

過去のケースでも、非常に手慣れた方、すごく有名な方ではないにせよ職業的に携わっていらっしゃる方の応募もあったと認識しておりますので、その点は私どももさほど心配はしてございませんでした。

ただ、先ほどの賞金額ですとか、ご懸念があるということですので、どういった形でより積極的に公募していただけるか、プロの方も含めてというのは工夫をしてみたいと思います。ただ別枠でということは、現時点では考えてございません。

日本放送協会千葉放送局 綱島局長

はい、ありがとうございます。繰り返しになりますが、「理念を体現し・・・」と募集要項に条件が書いてある通りこのロゴマークとキャッチコピーというのは基本理念が表現されているものなので、非常に重要だと思います。選考のところも含めてかなりしっかりやった方がいいかなと思いました、以上です。

神谷会長

はい、ありがとうございます。他にこの点に関しましてご意見ございますでしょうか。はい、それではまず久保様お願いいたします。

ペイエフエム 久保代表取締役社長

はい。周知期間が4月から7月末までということで、やはり広く知られないと様々な案が出てこない、あるいは一部の人がだけになってしまうと考えられます。

チラシ・ポスター等で告知すると書いてありますが、学校も含めてだと思っておりますがいろいろ知らしめていく、それからその意義。推進計画における基本理念っていうのもわかったうえで、応募してもらわなくちゃいけないわけですから、そこら辺の周知の仕方っていうのは、わずか3ヶ月の中で、どうやっていくのか、思うところではございます。

都市アイデンティティ推進課

まず周知の方法ですけれども、資料に記載の通りチラシ、ポスター、それから先ほど申しあげましたSNS等で発信をしていくと。それから、当然市のメディアであります市政だよりも使って発信をしてまいります。市制100周年のときの事例ですけれども、こういった発信がさらに懸賞・公募雑誌に載りまして、そういった雑誌を見て応募してくるといったような事例が100周年のときにはございましたので、そういう二次的な波及も含めて、これだけの期間をとってれば十分に周知というところは図れるというふうには考えております。

神谷会長

よろしいですか。それでは先ほど挙手いただきました文化連盟の磯野さん。

千葉市文化連盟 磯野会長

機運醸成や趣旨に関してはよく理解しました。

ただ、こと学校に関してはですね、「千葉常胤公ものがたり」とか本を配って関心がある中で、やはり子どもたちがこれから900年を迎えるとき、子どもたちが主役になってい

く状況がある中で子どもたちの賞をあげるときに、「ユニーク賞」がいいのかなっていう部分は正直ございます。

やっぱり市長賞をもらった方が嬉しいと思うので、わけだし。だから子どもたちをもプロと一緒に表彰を混ぜてしまうのではなくて、子どもたちは別でもよいと思います。いいんじゃないかなっていう思いは正直ありますので、その辺も是非検討していただければという思いがあります。だけでございます。

神谷会長

ありがとうございます。今のご意見は名称ですかね。他にロゴマーク、キャッチコピー関連お願いします。

千葉市町内自治会連絡協議会 金子会長

AIで作ってきたやつでも構わないのでしょうか。AIが作ったかはわからないので、どうするんだろう。創作の中から認めちゃうんですか。

神谷会長

はい、事務局どうぞ

総合政策部長

はい。AIそのものを排除しようとしたしますと、黙ってAIが使われた時に、どうやって判別するのは非常に難しくなります。

ということで今回は、AIを活用しても構わないのだけれども、どのようなソフトを使ってどういうソース、要はその技術を使ってどういう作品としたかということちゃんと添付をしていただくということを前提に募集するという事で考えております。

神谷会長

ありがとうございます。他にロゴマーク制作に関しましてご意見ございますでしょうか。

多岐に渡ってご意見をいただきまして、デザイン案は市民募集だけにするのか、また専門家に別でお願いしておくべきなのか。

ご意見にはありませんでしたけれども、デザインを市民公募してそのままは使いにくいので、それをベースにして専門家にリライトしてもらい取り組みをしているところもありますので、デザイン案の扱いについては改めて整理する必要があるかなと思います。

副会長の話もございましたように、選考の手法で1次審査と2次審査それぞれに選考委員会等を介していくかということでもありますけれども、1次審査につきましては選考委員会の審査ということとありますが、2次審査について本当にシンプルに市民投票だけでいいのかということについては、いくつか議論がありました。

なかなか採決で採りにくいのですが、事務局でまとめて整理していただいて、投票についても、市長選挙ほど厳密な管理はできませんので、一定の何か、例えば同じデバイスからは1回しか投票できませんってことは設定できると思いますけれども、そういった様々な不備が想定される中でどういった最終決定していくかについては、ちょっと整理をした方がいいんじゃないかということを感じます。

今後文面で整理していただいて協議会を開くのか、また持ち回りするのか検討しますが、事務局で改めてちょっと整理をしていただけませんかでしょうか。

賞の名前につきましても確かにユニークというのは、千葉常胤賞なのか、市長賞よりは違う名前のほうが良いような気もしますが、賞の扱い、名称につきましても、まさに理念を体現したようなもののほうが良いかもしれませんので、それを事務局で練っていただいて、それも含めて再提示していただけますか。よろしいでしょうか。

総合政策部長

はい、かしこまりました。早急にまとめたいと思います。

神谷会長

はい、ありがとうございます。それでは議案1の第2号につきましては多数ご意見をいただきましたので、継続的にこちらは検討させていただきたいと思います。

議事の第2号につきましてロゴマークのほかにもご意見ございますか。よろしいでしょうかね。

では、議事の第2号の令和6年度の協議会の事業計画案は、キャッチコピーにつきましては改めて事務局に整理をしていただき、他の項目につきましては原案の修正を伴うようなご意見はなかったということで整理をして、引き続き検討させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。

賞の金額につきましても、改めて可能かどうか検討を重ねていただければと思います。

予定していた議事につきましては、一旦ここまでとさせていただきます、これからの時間については意見交換に移らせていただきたいと思います。

令和8年度に協議会として行う事業につきまして、現時点のアイデアを資料としてご用意しております。

ぜひこの機会に皆様に忌憚のないご意見をいただければと思いますので、まずは現時点のアイデアとしての資料を事務局から説明をしていただければと思います。よろしくお願ひします。

総合政策部長

はい事務局でございます。よろしくお願ひします。

それでは、令和8年度の協議会主催イベントの現状のアイデアというものを資料化してございます。なお、お手元の紙資料は基本的に文字だけとなっておりますが、画面に映すものは若干写真等も混ぜ込んでおりますので合わせてご覧いただければと存じます。

まず1ページでございますが、記念式典でございます。こちら開府の日を6月1日という形で設定してございますので、この令和8年も6月1日月曜日に行いたいと考えております。会場につきましては郷土博物館があります亥鼻公園、

騎馬武者像の前の広場ということで、スペース的にはマックス200人ぐらいの地かなというふうに考えてございます、2の主な内容をご覧の通りでございますが、セレモニー的な部分のほか、若手ということで、お子さんのごあいさつ、学生の演奏等、またリニューアルした郷土博物館の見学、記念品配布、ライブ配信ということを考えてございます。

次のページですが、上から見た写真でありまして右側が郷土博物館、中央ちょっとのところに騎馬武者像があって、囲っているところが式典会場になるのかなというふうに考えてございます。記念式典は以上でございます。

次のページ、オープニングイベントでございます。先ほど申し上げました通り6月1日が月曜日平日でございますので、多くの市民に参加していただくという観点からやはり週末、イベントを行いたいと考えておりまして、現状ではその式典の前日、5月31日を考えております。会場につきましては現在検討中でございますが、交通アクセスで利便性が高いところあるいは雨が降ってもイベントができるような場所ということで検討してございます。

2の主な内容でございますが、やはりその基本理念に照らしまして開府の歴史の側面また、文化芸術スポーツに親しむ機会として、多くの市民の方に楽しんでいただける足を運んでいただける内容にしたいと考えております。

またイベントの企画運営にはですね、若い世代の方々にもぜひ参加していただけるよう工夫をしてみたいと考えてございます。

次のページ、基本的には軟らかめの賑やかなイメージ画像が並んでおりますが、市民の方に興味を持っていただくために様々なイベントを用意し、足を運んでいただいた方に開府の歴史に触れていただくというイメージで考えてございます。

続きまして、記念のパレードでございます。850年にも開催いたしました、今回もぜひやりたいなというところでございます。日程でございますが昨今の温暖化等も含めまして秋頃がいいのかなというふうに考えておりまして、例えば

その夕方以降、ライトアップと組み合わせるということも検討しております。ルートにつきましては中心市街地ということで、括弧書き、千葉駅から中央公園を中心とするエリアで検討してまいりたいと考えてございます。

次のページは画像になっております。参考事例を二つ挙げさせていただきます。

左側は既に千葉で行われておりますYORUMACHIパレードでございます、地元の小中高校の皆様ですとかプロスポーツ、チームにご参加いただいているパレードでございます。右側は参考として大阪の御堂筋ランウェイというところですが、ここはですね地元に加えまして、かなり幅広に全国各地の祭りですとか有名歌手ですとかそういったものを幅広に呼んでいるような内容でございます、このあたりのバランス感覚を900年としてどうしていくかということを検討してまいればいなというふうに考えております。

続きまして開府900年、歴史あるということでこの古式弓馬術イベント、平たく言うと笠懸ですとか流鏑馬といったことになるのですが、これは時代的にも平安末期から鎌倉時代に行われていたということで、こういった取り組みをしてはいかがかと考えてございます。日程会場とも検討中でございます。

次に二例、イメージ参考事例を載せてございますが、いずれも神奈川でございます。左側が三浦ですね、鎌倉殿でも重要な役割を果たしておりましたが、笠懸ですね。そして右側の藤沢での湘南江の島春まつりと、こういったところで行われて、実際にはこういった方々をお呼びしてやるようなイメージを考えております。

それでは続きまして、ネタとしては最後になりますが記念モニュメントの制作でございます。やはりそのソフトのイベントだけではなくて皆様に長く愛されるようなもの、認知されるようなものを作ってはいかがかと考えてございまして、設置場所も検討中ではございますが、待ち合わせ、あるいは一緒に写真を撮るような形のものを検討していきたいと考えております。制作物はモニュメントとしてふさわしいものということで、また資金的には官民あげて皆さんで設置するとい

うことが重要と考えておりまして、クラファンの活用ですとか、そういう目標を達した場合の工夫ですとかということを考えてまいりたいと思っております。

実際の事例をいくつか写真で載せさせていただいております。一番左上が典型的な銅像でございますして仙台の伊達政宗でございます。その他は3Dホログラムですとか、アート系のものでしたとか、デジタルを活用したもの、トリックアート、あるいは実際の本当に写真撮るようなですねそういうドナルドみたいな、いろんなものまで出しておりますが、こういった中でそのイメージに合うものをまた長く愛していただけるところで、今後進めてまいりたいと考えております。

駆け足でございますが、現時点のアイデアを申し上げました。ぜひ活発な議論をお願いできればと思います。よろしく申し上げます。

神谷会長

はい、ありがとうございました。協議会主催イベントにつきまして、アイデアベースではありますけれども、ご説明をいただいたところであります。ぜひご意見をいただきたいと思っておりますので、どんなことでも結構でございますので、お願いできないでしょうか。よろしく申し上げます。

はい、飯田委員申し上げます。

千葉市教育振興財団
飯田理事長

たびたびすいません。ちょっと記念式典の日が6月1日の月曜日、この日に記念式典をし、オープニングイベントはその前日の5月31日の日曜日にとすると、6月1日はやっぱり月曜で平日ですけれども、このときにやるということであれば子どもたち、6月1日の月曜日は学校をお休みにするのでしょうか。まず聞きたいんですけど。

神谷会長

はい、学校が休みかどうかというのはまだ特に決めてないです。

事務局としては、6月1日という開府の日で記念式典の開催はすべきで、子どもたちも含めて多くの方に記念日を知っていただき、思い出に残していただくために、前日の週末に多くの方に参加いただけるイベントを開催するというご提案いただいたということです。

おそらくスペースの関係で亥鼻公園に多くの方にどっと来ていただくのはなかなか難しいということで、オープニングイベントについては別会場も想定されているってということなんですけども、飯田委員の質問の趣旨も踏まえたいうえでの案になっている部分もあるのかな、とはちょっと感じますがどうでしょうか。

千葉市教育振興財団
飯田理事長

主な内容の中で、子どもの代表あいさつとか、学生が参加してというものもある中で、やっぱり自分としては6月1日、小学校中学校を休みにしてほしいなっていう期待と、あと市民の日が10月18日、これ政令市の公布のあった日ですが、この開府900年、6月1日と政令市になった公布の日を、変えちゃいけないのかなと思ったんです。

市民の方々が、政令市になった日を、これは4月1日なんですけど、これと900年前に千葉が開府された日っていう、この記念の日っていうのは全然重きが違うと思うのですが、ちょっとそこら辺のご意見もいただければと思うのですが。

神谷会長

今のご意見はいくつかの要素が含まれていて、千葉開府の日をどのように今後顕彰して位置づけていくのかということではないかというふうに思います。

今は10月18日も小中学校は休みではないので、千葉市としての市としての節目となる日についても小中学校を休みにせず、学校でその日の意義について話し合う時間を設けるというような位置づけにしていると聞いたことがございまして、それはそれで一つのあり方ではないかというふうに思います。

ただ、10月18日は政令市移行の政令が公布された日ですが、行政中の手続きの話なので、市民にとってはあまり実感として湧きにくい日ではあると思います。

一方で、千葉開府の日は、やはり官民挙げて50年おきに顕彰している日でありますので、6月1日の千葉開府の日っていうのをこれからもっと位置づけて、しっかり取り組んでいくというような位置にするのは、確かにそういう面はあるなど。

私がどんどん喋ってはいけないんですけど感じたところで、千葉開府の日をどう位置付けていくのか、そして令和8年6月1日にどんなことを行うべきなのかについて委員の皆様からのご意見いただければというふうに思います。

ちなみに令和6年、今年の6月1日につきましては、ちばかわまつり（都川）を行うこととしておりまして、都川っていうやっぱり千葉の街の成り立ちといいますか、大きな影響を与えているという共同研究もありまして、川というのは元々地域の歴史が込められたものでございます。

そこにスポットを当てて、街の成り立ちについて、歴史的にもまた都市形成の歴史を振り返る上でも重要ではないかということで、少し千葉開府の日っていうのを重く位置づけて取り組みというものが具体化できないかなと思っておりまして、予算も確保しているところでございます。

千葉開府の日をどうしていくべきなのかという点についても、併せてご意見いただけますとありがたいです。

千葉市教育振興財団
飯田理事長

なぜその日付にこだわるかということ、実は市民の日近辺で公共施設が1週間ぐらい無料になるんです。一方で6月1日、この100年に一度の大イベントの日、公共施設って無料になるんですか。その辺も含めてちょっと日付にこだわったわけです。その10月18日には、真にそういうサービスをして、この100年単位のイベントについては、そこまでしないっていうのはいかがなものかなと思い、ご検討していただきということです。

神谷会長

ありがとうございます。確かに政令市になって30年が経ちましたので、位置付けについても変わってきているかと思えますので、その意見をやっぱり今後どうしていくのか、考えていきたいというふうに思います。この点も含めましてその他の観点でも結構でございますのでご意見をぜひいただければと思います。

はい、初芝委員お願いします。

千葉市社会福祉協議会 初芝会長

社協初芝です。前回の意見を踏まえての今回の修正で、最初の議題のほうで説明があったエリアを市内全域で、とのことでした。千葉城中心にやるということ、こういう方向性ももちろん結構だと思うんですけども、市内各所でもいろいろサテライト的に人が集まるようなコンテンツを用意していただければありがたいなど。

先ほどの資料、ひとつ前の資料にありますけど、千葉市の主な事業として、先端技術を活用した千葉氏関連コンテンツの検討がありますので、これまだ具体的には言ってないのかもしれないんですけど、例えばVRとかアバターとか、最新の技術を使って、千葉氏が何をやったかわかりにくいついていうご意見がありましたので、千葉氏になった体験ができるとか、それ極端かもしれないですがそういう体験型の事業展開も考えていただいてこのメイン会場だけではなく、高齢の方とかなかなかメイン会場に行きづらいかと思えますので、サテライト的にもいろいろな会場で開催できるような新しい技術を用いたこと、体験型のものが私個人的にはいいと思っているのですけれども、イベントを用意していただけるといいかと思っております。

ぜひその際は社協のいきいきプラザですとかいきいきセンターとか、集まっていたきたい施設はたくさんありますので、そういうところで協力させていただきたいと思えます。とかく千葉氏が何をやったかわかりにくいついていうご意見がありましたので、千葉氏になった体験ができるとか、それ極端かもしれないですがそういう体験型の事業展開も考えていただいてこのメイン会場だけではなく、高齢の方とかなかなかメイン会場に行きづらいかと思えますので、サテライト的

にもいろいろな会場で開催できるような新しい技術を用いたこと、体験型のものが私個人的にはいいと思っているのですが、イベントを用意していただけるといいかと思っております。

ぜひその際は社協のいきいきプラザですとかいきいきセンターとか、集まっていたきたい施設はたくさんありますので、そういうところで協力させていただきたいと思います。

神谷会長

事務局で何かありますか。はい、お願いします。

総合政策部長

ご意見ありがとうございます。確かにですね、我々もその市内全域で多くの市民の方と考えますと、今まさに例示のありました、先端技術を使ったコンテンツというのは、できるだけ幅広いエリアも含めて、展開をしてみたいと、検討しているところでございます。

今検討しているものとは別物でございますが、実は今年度スマートシティの実証事業の中で、常胤を登場させるVRゲームというものを実は作って体験をしていただいている最中でございますが、ちょっと20分ぐらいかかるんですけど概ね好評でございます。

大人から子どもまで千葉氏ってこうだったんだっていうことがわかるような内容になっておりまして、そういう意味では非常に可能性を感じているところでございますので、今後そういった方向で検討してみたいと、考えております。

神谷会長

はい。ありがとうございます。それでは佐久間会頭、お願いします。

佐久間副会長

先ほどいくつかございましたけど、一ついろんなところで開催することで、最初に記念パレードのところ、前は緑区の千葉氏がいたお城から亥鼻まで行進したというか炬火リレ

一をやったことがあったと思ったので、今回も同じような形でパレードしたらどうかと思います。

あと古式弓馬術のイベントですけど、これは実際にやる人は神奈川から招へいするというので、非常に情けないのではないかと。それもひとつの案かもしれませんが、例えば千葉県弓道連盟に協賛して、記念弓道大会を今回を初めてとしてずっと継続して開催できたら、ひとつの事業としていいのかと思います。

それから、千葉氏が何をやったかよくわからない、いろいろ調べても出てこないとあります。

千葉常胤の特徴というのは、長生きをして、62歳のときに旗揚げに参加して、84歳で亡くなるまでの間に大豪族になったってところが、カーネル・サンダースのようではないかといろんなところで話しますが、そういうイメージのキャラ作りをぜひしていただいて。

モニュメントもですね、そういうカーネル・サンダース的なもうちょっと親しみのある人ということで。千葉常胤は平清盛と同じ年に生まれて、千葉常胤の旗揚げの翌年に平清盛はなくなっています。ですから千葉常胤は相当長生きだった。

千葉六党の話もありますが、常胤は子どもたちと仲良くして豪族になった、ファミリーみたいなところが特徴かなと思っています。何か親しみのあるキャラ作りだけでもできればと思います。

古式弓馬術については、吾妻鏡を読むと毎日のように御家人が弓道をいろんなところでやっています。開府900年を機に弓道大会をやるのはいいのではないかなと思います。

神谷会長

はい、ありがとうございます。事務局からお願いします。

総合政策部長

はい、ご意見いただきましてありがとうございます。大椎からの移動につきましては、検討させていただきます。

パレードという形でできるかというのは、距離の関係、あるいは交通規制の関係とございますが、850年の時は炬火リレーをやった実績がございますので検討してまいります。

それと、弓道の関係はですね、おっしゃっていただいたように連盟の方々だとかとご相談をしてみたりと考えていきたいと思えます。またモニュメントについても、ご意見ありがとうございます。ただ単に銅像というだけでは、なかなかその構成が我々も考えてございまして、どういうそのキャラクターの要素付けをするかというのは非常に重要と思っております。

神谷会長

はい。ありがとうございます。他にございますでしょうか。はい、綱島委員お願いします。

日本放送協会千葉放送局 綱島局長

はい、私からは意見交換ということですので、少し思ったことを言わせてください。900年記念事業は、話題性が大事だと思います。千葉市内、そして全国の人が「千葉でこんなことやっている」という話題性をどう作るかがポイントで、2年しかないと考えた方がいいと思えます。戦略を立てて実行に移すには短い期間ですので、どう話題性を作っていくかだと思います。先ほど事務局からの最初の説明で非常に大事なところの『次代を担う若い世代が千葉市に誇りを持ち』という話がありました。これは非常に重いし、大事なことだと思えますので、まさにこの言葉をしっかり代弁できるようなイベントなりキャンペーンなり、そういう展開が必要だと思います。

そういう意味では、この900年を機に、レガシーとしてモニュメントだけを残すのではなくて、やはりコトというかモノだけじゃなくてコトですね、901年902年と続けていけるような、何らかのスポーツイベントだとか文化イベントだとか、そういう参加型の何かができるといいなと思えました。例えば、ブレイキンとか、新しいスポーツが出てきて

いますけれども、そういったものを披露して、それを千葉市長杯にするとか、何らかのレガシーとして残っていく事業をスタートさせる年にして、ずっと続けていけるといいですね。若い人たちが、千葉市に住んでよかったとか、千葉市ってこんなにいい街なのだということを感じられるイベントにしてほしいですね。以上です。

神谷会長

はい、ありがとうございます。よろしいですか、事務局コメントありましたら。

総合政策部長

はい、ご意見ありがとうございます。話題性ということで、ひとつはPRの側面と、もうひとつは実際のイベントということで、ご意見を承ったと思っております。PRにつきましてはまだ現状具体的にお示しできるものはございませんが、令和8年度を本命と捉えまして、徐々にボルテージを上げていくということで例えばそのPR大使の起用ですとか、そういうことを含めて今後検討してまいりたいと思っております。

また、このイベントに関しましては、我々もその通りだと思っております、特に基本理念の文化作りという、この双壁が芸術面とスポーツ面だと思っております。その中で芸術については今ちょっと先行して千葉国際芸術祭、これを定期開催化していく方向で、準備を進めておるところでございます。

スポーツにつきましても、まさに綱島委員がおっしゃられましたような、今後続いていくようなイベントというものをですね、実現できるように、検討を進めているところでございます。また順次明らかにできることがありましたら、申し上げたいと思っております。

神谷会長

ありがとうございます。綱島委員、コメントよろしいですか。はい、850年のときにスポーツ関係ではサンスポマリンマラソンが始まりましてですね、それが残念ながら中止と

ということになりましたので、スポーツ面です、今おっしゃられたブレイキンですとか、いわゆるアーバンスポーツだ、アクションスポーツだと言われるものについても、千葉を会場に行われてるものが出てきておりますので、そうした動きを捉えてですね、継続的に開催しているものはどういうものがあるのか、検討させていただきます。

はい、それでは中元委員お願いいたします。

千葉日報社 中元代表
取締役

はい、私の方からも900年が起点になるようなイベントってというのは私も思っていて、弓道大会もいいですし、ブレイキンという意見もありました。私の方から若い人で盛んになっているeスポーツ関係で、先ほどVRでも常胤ゲームがあるということで、思いつきで言いますけども、そういうのと併せて、やっぱり記念モニュメントの制作についても900年のレガシーを残していくという意味では、待ち合わせ場所とモニュメントとしてふさわしいものというのがあると思うんですが、この辺は一体として考えないといけないと思いますし、その辺について例えば事務局からいくつかプランニングを出すっていう形をとるのか、それについて何か選考みたいなものが準備組織みたいなものを立ち上げることがあるのかとか、あと根底的にやっぱり先ほどコピーとかはきちんとスケジュール感があるんですけど、モニュメントについてもあと2年しかない中で、どういうふうに考えているのかを事務局からお願いします。

総合政策部長

はい、記念モニュメントの制作ですけれども、おっしゃる通り時間がないなという風感じております。今回協議会で記念モニュメントを制作していくという方向性を、ある程度ご了解いただいたうえで、これからこういったものをどの場所にどういうスケジュールで、それから特に若い方々とかの意見をどう入れ込んでいくかといったこと案をこれから作成しまして、改めて委員の皆様方にお諮りしたうえで進めたいと考えております。

千葉日報社 中元代表
取締役

わかりました。今回はモニュメントをつくるということは了承ということの提案でよろしいですかね。

開府900年は歴史もありながら、先ほどモニュメントでもデジタル系とか、いろいろできる時代になっているので、難しいとは思いますが、提案よろしくをお願いします。

神谷会長

ありがとうございます。はい、それでは野村委員をお願いします。

千葉市スポーツ協会
野村理事長

先ほど来からスポーツのことでいろいろ提案されていて、いつ言おうか迷っていたんですけども、先ほど説明の中で野球、サッカー、バスケット、バレーだとかプロの意識が強すぎるのが最近の千葉市の動向ですが、ひとつ忘れてはいけないのは、やはり千葉市は海に面しているところもあるので、レッドブルのエアレースを盛大に行っていたとかもあるので、海浜でのイベントも必要ではないかと思います。

また、近代的なスポーツもありますよね。ブレイクダンスとか、そういったものもあるんですけども、やはりアマチュアスポーツという原点を考えれば、弓道もそうですけど、柔道、剣道もしくは陸上などね、千葉はいいスポーツ環境もっているんで、そういったところを、スポーツ協会として検討していきたいと考えている。スポーツ協会には現在39団体で38種目が加盟していて、その38種目の連絡会が4月にあります。そこでも周知していきたい。

去年の段階でも900年で何ができるかなと、協会の中で考えていこうと、先ほど850年のときにサンスポ千葉マリンマラソンが企画されたというのは、もちろん認識していて、先ほど炬火リレーの話がありました。大椎町から亥鼻町まで、このお話もそうなんですけど、そこで市民マラソン、東京マラソンみたいなものをできないかというのもしっかりあがっているんですね。

ただ交通事情もあって、環境などそういったもの全体的なところと調整をとらなきゃいけないっていうのもあるの

で難しいとは思うんですけど、そういったやはり大きなものを900年を境にして、構築していかなくちゃいけないんじゃないかとスポーツ協会の中で出ております。

スポーツの件についてはそういったところなんですけど、皆様のご協力を得ながらどんどん進めていきたいと思うんですが、もうひとつ先ほど市長が言われた都川の件で、都川を起点としてお祭りをするっていうところで、都川ってすごく太い川で、実は県が管理しているんですね。しかし起点はどこだっていうと、知らない人が多いと思うんですね。都川の上流に支川都川があり、最上流部が実は緑区のおゆみ野になるんですよ。で、そこを起点として支流となり、細い川が最終的には都川のところに流れてくると。そういった歴史も必要だし、その都川に入っていくところに坂月川という市で持っている川もあり、その上流に加曾利貝塚があるんですよ。そういったところも踏まえて、都川全体でお祭りをしてあげるっていうのは、すごくいいことかなと思っていますので、ぜひ実行していただければと思います。長くなりましたが以上です。

神谷会長

はい、ありがとうございます。スポーツ関係についてはどんなふうにしていくのか、またご相談させていただきたいと思います。都川については私も最近クロスバイクをやっているんですけど、都川を遡上するサイクル歴史ガイドなる方が活動されてまして、様々なゆかりですとか、歴史的ないわれなど説明してもらい私も大変参考になりましたので、やっぱり河川に着目した歴史を振り返るようなまち作りっていうのも現在に繋がってる場所があって、非常に関心長い取り組みにしていけるんじゃないかなと思っていますので、今後も企画の充実など検討していきたいと思っています。

はい、それでは次に金子委員お願いします。

千葉市町内自治会連絡協議会 金子会長

一つだけ質問します。冠事業も出てくるかと思って、冠がついている事業のことが話に出るかと思っていましたが、なかなか出てこないの。

スポーツだとかそういうのばかりじゃなくて、どんなもので、どこまで冠許すかっていうのをひとつ基準を作っておいていただくと、皆さん事業を探しやすいのかと。お金あるのか、お金ないのかしら。

それと今の話で、花見川も今度の30日、31日、肝いりの事業だと思うんですけども、印旛沼まで千葉市の資源を繋げていこうという企画がありまして、桜を見る会が我々の本桜緑地である。それから、海辺の開発が進んでいるんですが、我々昔から花見川もウォーターフロントだと思っていて、そこでやりますから、千葉開府900年何とか事業と銘打てれば、使い方はあるのかなと思います。

神谷会長

はい、ありがとうございます。冠事業の扱いについてですね。

総合政策部長

はい、ご意見ありがとうございます。幅広い取り組みの中で開府900年記念っていうものを作って、積極的にやっていきたいと考えておりまして、広く市民の方、団体の方々にやっていただくためにメンバーシップ制度を使って、記念事業として認証していくというやり方を取らせていただきたいと思っております。

一方、千葉市が主催するような事業に関しても、積極的に記念期間に行うものについては冠をつけて、かつ内容的に900年絡みのものを付けて行くような形で幅広い展開を考えてまいります。

特にかわまちづくりの関係は今全庁的に力を入れながら進めている取り組みでございますので、そういった方向で進めたいと思っております。

神谷会長

はい、ありがとうございます。時間も迫ってまいりまして、この協議会からたくさんご意見をいただけるということを私は非常に感謝しておりますが、ほかに今回これだけは言

千葉市教育振興財団
飯田理事長

っておかなければいけないと思うことが今日はたくさんある
と思うんですけどもいかがでしょう。

飯田さんと久保委員、あと他によろしいですか。ではお2
人からご意見をいただいてですね、今日はここまでとしたい
と思います。

はい、何度も申し訳ないです。先ほど初芝委員のほうから
市内各地をサテライトとして、6月1日にやったらどうかと
いう話があって、綱島委員のほうからは900年を契機に継
続してできるような事業をやったらどうだということの中
から、実はこれ実現するかどうか、ちょっと磯野先生に聞きた
い部分があるんですけど、6月1日に市内の小・中学校で、
千葉氏関係の授業を毎年6月1日に市内全校でやれないの
か。いわゆる小さい頃からそういう歴史を学んで、千葉市民
として育っていく、それを毎年毎年繰り返し継続していく、
ということができないのか、ちょっと磯野先生。答えられる
ならいただきたいんですけど。

千葉市文化連盟 磯野
会長

現職ではないので明言は避けますが。

例えば市歌を挙げると、以前も申し上げましたけども横浜
市は入学すると同時にずっと市歌を歌い続けて、全部子ども
たちが市歌を歌えるという状況にあります。千葉市も市歌が
ありますが歌う機会が多くないと思います。

イベントのときにあるけどそれ以外は歌わないってことが
あって、それを各学校で歌おうということで、議員などから
も提案いただき、歌うようになってきました。

千葉常胤のことについても、漫画「千葉常胤公このがた
り」できて、各学校でも取り扱うとともに、「わたしたちの
千葉市」「未来を拓く千葉市」でも、指導している状況があ
りますので、前向きに検討すればできないことはないと思わ
れます。

ただ、6月1日と限定されると厳しいけれども、必ず教育
の中で伝えていくという大前提があるので、そこについては

教育委員会も理解していただけたと思います。以上でございます。

神谷会長

ありがとうございます。よろしいでしょうか。

千葉市教育振興財団
飯田理事長

はい、教育委員会に指示を出していただいて。

神谷会長

指示ができる立場ではないんですけどご意見としてしっかりと受け止めさせていただきます。

最後に久保委員からお願いします。

ベイエフエム 久保代
表取締役社長

機運醸成の一環でずっと思っているんですけども、毎年6月に千葉公園の大賀ハスの池を舞台にですね、Y o h a Sというお祭りが行われております。千葉市のあそこではダンスパフォーマンスとか音楽とともにプロジェクションマッピングでいろんなものを投影させたりしているので、6月ということもありますし、それから大賀ハスも千葉氏とは直接関係ありませんが千葉市にとっての大きい財産だと思いますので、あそこにあったことを関連付けてですね、何かやっていければいいんじゃないかと思いました。

神谷会長

はいわかりました、ありがとうございます。大賀ハスももちろん千葉市の歴史を語るうえで欠かせないものでございますので、個々のイベントなどでどう取り扱っていくのか、しっかり検討させていただきたいと。皆さんありがとうございます。

それでは予定時間を若干超えてしまいましたけれども、今日も非常に活発なご意見をいただきましてありがとうございました。協議会主催のイベントの方向性につきましては、かなり多角的なご意見をいただきましたので、事務局のほうで

一旦整理をさせていただいてですね、改めてご意見をいただき機会を設けたいと思いますし、また記念モニュメントにつきましては、もう少し協議会でご意見いただいたような方がいいのではないかと思いますので、今日令和6年度のスケジュールの中で、次の協議会の12月になっているんですけども、もう少し前に開いた方がいいような気もしておりますので、また委員の皆様にご足労いただくこととなりますが、夏とかですね、その段階でもう1回ぐらい開かせていただければなというふうに、私として思いましたので、また改めてお諮りさせていただきたいと思います。

今日はありがとうございます。それでは事務局に進行を戻したいと思います。

総合政策局長

はい、皆様大変お疲れ様でございました。以上をもちまして、第2回千葉開府900年記念協議会を閉会といたします。なお会長からお話がありましたけれども、次回の日時や場所につきましては、改めて調整のうえ、追ってご連絡を差しあげます。本日はありがとうございました。